



令和6年5月
宮城県農政部農村振興課



流域治水と連携した田んぼダムの普及・拡大について

宮城県内の田んぼダムの普及・拡大について

宮城県では、気候変動の影響による水災害防止・軽減対策として、水田の持つ雨水貯留機能を最大限に活用し、下流の市街地、河川等への流出を抑制する「田んぼダム」の取組を進めています。

令和3年6月に大崎管内の市町、土地改良区、農業者が参画し、設立された「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」は、令和5年4月から県内全域に拡大され、会員は27市町村、38土地改良区、4農業者組織となりました。

田んぼダム実証コンソーシアムの主な活動内容

・田んぼダムシンポジウムの開催

田んぼダムのシンポジウムを開催し、コンソーシアムの活動報告や有識者の講演等を通して、普及・啓発を図ります。

・田んぼダム現地視察会

コンソーシアム会員を対象に、田んぼダム先進地域の視察を行い、取組拡大の意識醸成を図ります。

・田んぼダム実証・普及ワーキンググループの開催

圏域ごとに関係市町村、改良区でワーキンググループを開催し、田んぼダムの仕組み・事業制度の勉強会や現場視察を実施します。

・田んぼダム出前講座の開催

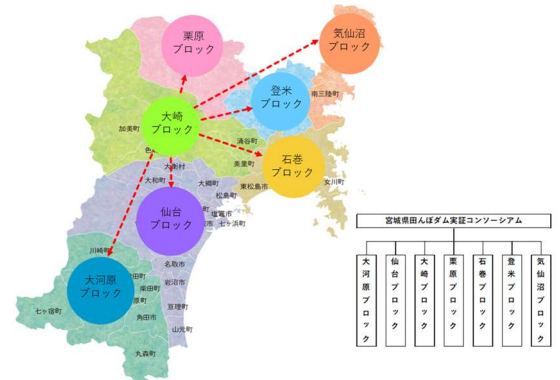
県内の小中学校等を対象に出前講座を開催し、「田んぼダム」の仕組みを分かりやすく解説し、普及・啓発を行います。

・田んぼダムの効果検証

田んぼダムの効果を「見える化」するため、大崎市の「田尻西部地区」、「下野目東部地区」において田んぼの効果検証を実施します。(令和5～6年)



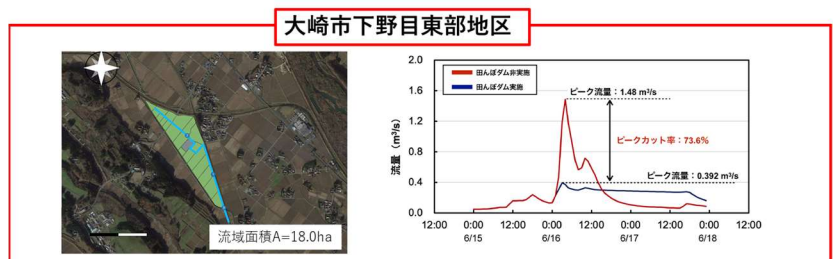
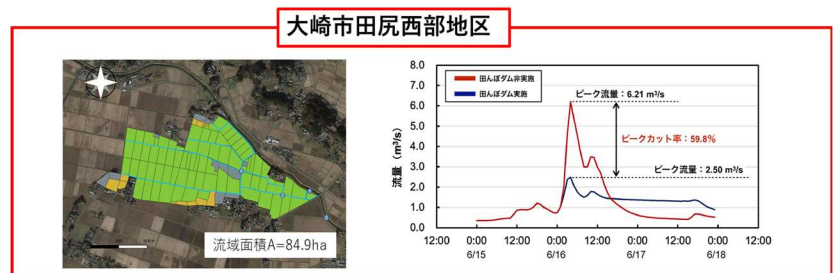
田んぼダムシンポジウムの開催状況
(R5.6.12 大和町まほろぼホール)



令和5年度取組面積 合計 1,980.7ha (速報値)



現地視察会 (R5.8.31 山形県因幡堰土地改良区)



令和5年度の効果検証結果